



DAIHATSU

Press Information

2017年10月5日

軽乗用車「タント」の累計販売台数が200万台を達成



タント X “SAIII”



タント カスタム RS “トップエディション SAIII”

ダイハツ工業（株）（以下ダイハツ）が販売する軽乗用車「タント」^{※1}の発売以来の累計販売台数が、200万台を達成^{※2}した。

「タント」は、日本初のモアスペース系軽乗用車^{※3}という新ジャンルを開拓したモデルであり、2003年の発売以来、子育てファミリーを中心に幅広くご好評いただいていたダイハツ基幹車種の一つである。2007年に発売した2代目モデルでは、軽唯一のミラクルオープンドアを採用し、使い勝手の良さと室内空間の広さを追求。また2013年に発売した3代目モデルでは、衝突回避支援システム「スマートアシスト」を搭載し、安全性を向上した。

2014年度には、軽四輪新車販売台数No. 1^{※4}を獲得するなど、2006年度以来11年度連続で獲得しているダイハツの軽シェアトップに大きく貢献している。

<タントの歴史>

- 2003年11月：初代モデル発売（初のモアスペース系軽乗用車^{※2}）
- 2007年12月：2代目モデル発売（ミラクルオープンドア採用）
- 2009年12月：「タント エグゼ」発売
- 2011年10月：累計販売台数100万台達成
- 2013年10月：3代目モデル発売（スマートアシスト採用、外板樹脂パーツ採用拡大）
- 2016年11月：一部改良（スマートアシストⅢ採用）

※1：軽乗用車「タント エグゼ」（現在は販売終了）、軽福祉車両「タント スローパー」「タント ウェルカムシート」を含む

※2：2017年10月5日時点。全国軽自動車協会連合会データおよびダイハツ調べ

※3：全高1,700mm以上の軽乗用車。ダイハツ調べ

※4：全国軽自動車協会連合会調べ